



巻頭言 2つの委員会での取り組み

私が今議会で最も時間をかけている取り組み2つを紹介します。福祉教育委員会の政策提言と議会改革推進委員会の先例見直しです。いずれも一議員としての取り組みではなく、委員長として会議の運営、向かう方向性を考えること、様々な調整などを行っています。まず福祉教育委員会（以下福教委）。安曇野市は3つの常任委員会ごとに、毎年テーマを決めて市行政に対し政策提言を行っています。福教委では「子どもの権利条例の制定」をテーマに調査研究を進めています。1989年に国連総会で採択された子どもの権利条約（日本は1994年に批准）では、生命・生存・発達に対する権利、子どもの最善の利益、子どもの意見の尊重、差別の禁止を4原則としています。昨年はこの条約と憲法の問題に則り、子どもの権利の擁護を明記し、子ども施策の基本理念を定めたこども基本法が施行されました。これら条約や法の趣旨を具体的なこども施策を担う基礎自治体である安曇野市でどのように取り組むのかを考え、その根拠となるものが条例です。今回お伝えしたいのは、この条例づくりを議会が主体となって進めているということです。条例案を出すのはこれまではいつも市行政でした。議会基本条例は議会で作りました

が、政策に関する条例づくりは市議会では初めてのことです。よりよい条例を作るためには、我われ委員会での勉強や視察研修に加え、市教育委員会など関係機関との調整、意見交換が必要です。また7月1日からは、市内小学4年生から中学3年生まで、また市内4高校の高校生たちに、子どもの権利に関する意識調査アンケートを市教委と連名で実施しています。（※高校と安曇養護学校へのアンケートは議会単独実施）条例作りのチャレンジは大変ですが、福祉教育委員7名が意見を出し合い頑張っています。市民のみなさんからのご意見を広聴する機会も必要です。ぜひ子どもの権利について興味関心を持っていただきたいです。もう1つは議会改革推進委員会（以下、改革委）。これは議会内の委員会人事における先例の見直しについて検討しています。これまでの先例では、会派に属さない無所属議員が委員会等に所属できなかったり、会派優先の人事がされており、これを見直そうというものです。この取り組みは昨年10月に市民から出された同趣旨の陳情がキッカケとなっています。この陳情は議会全員一致で採択したものの、各委員の平等観の違いからなかなか意見がまとまっていらず先が見通せませんが、何とか着地点を見出したいと思います。



ぼうざぶろう 増田望三郎の市議活動だより

みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政や議会が市民にとって身近になるために、虹（＝Rainbow レインボウ）の架け橋となるような議員活動をしていきます。望三郎の活動はブログやフェイスブック、インスタでもどうぞ。



●プロフィール
大分県出身 55 歳。東京経由で安曇野に移住し 21 年目に。三郷小倉に妻、妻の両親と暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿（ちきゅうやど）』を経営。安曇野市議 3 期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

北小倉の民間事業者の廃棄物処理施設問題について

この問題の始まりは 2004 年末でした。私が安曇野に移住した年です。住民運動が起こり、事業者に許可を出した行政との裁判、事業者自体との裁判が約 14 年にわたって続き、今年の春に全ての裁判が終わりました。結果は住民側の敗訴でした。私も 2013 年から市議となり、この問題を 1 丁目 1 番地で取り組み、議会でも発言してきました。裁判が終わったことで、行政との対立関係も解消され、新たな局面に入っています。先頃は地域住民と市、



市と地域住民の連絡会議

サポーターからの応援メッセージ 40



嶋田 湧さん
（三郷／ギョウザミュージシャン）
恥ずかしい話なのですが、僕は 30 歳になるまで選挙に行ったことがありませんでした。僕が初めて政治に興味を持ち、人生始めて選挙に行ったのは移住して間もない頃にあった安曇野市議選です。その時には立候補者に知り合いや仲間が 5 人ほどいて、誰に投票するか本当に悩みました。嬉しい悩みです。これが僕の初めての選挙です。自分の暮らしが本当に変わるんだと確信しました。安曇野の未来は明るいと感じました。それから政治について考えることも多くなったのですが、最近思うことは「政治は暮らしの選択の先にただあるだけ」ということ。今

日のご飯何を食べるか？大切な人とどんな時間を過ごすか？これからの自分は何をして生きていくか？どんな物事を選んで暮らしていくか？日常にはたくさんの選択があります。僕は出来るだけ身体に優しい物を食べて、素敵な想いやストーリーのある仲間と支え合って、心地良さを大切にしながら生きています。政治は特別なものではなく、スーパーのお米を買うのか、地球宿のお米を買うのかの選択の違いのようなものだと感じています。「わたしがどう生きるか、わたしたちがどう生きていくか」これが全てにおいて大切な事だ気づきました。この事に気づけたのも身近にいた望さんのおかげでもあると思うんです。自分達の暮らしを自分達で作っていく、自分の人生を自分が楽しむ、それができるのが安曇野です。こんなに嬉しくて楽しくてワクワクする街はありません。大好きです！

6月定例会の一般質問

テーマ「地域循環共生圏の実現～2050年 安曇野市におけるゼロカーボン達成の先にあるもの～」

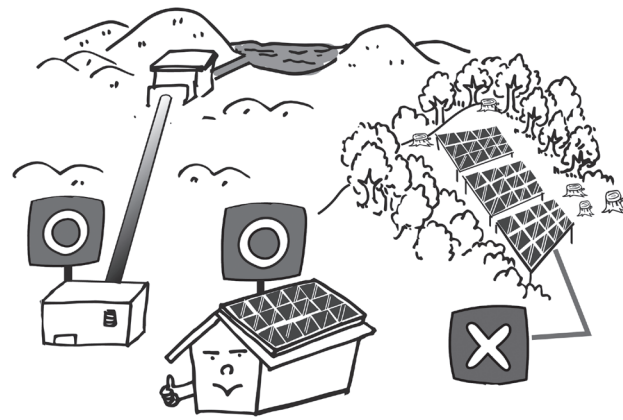
【解説】もはや「地球温暖化」ではなく、「地球沸騰化」とまで言われる気候問題。我われの住む安曇野も年々暑くなり、頻発する気象異常は温暖化によるものでしょうか。国際間の取り決めでは2016年のパリ協定があり、2050年にカーボンニュートラル*と平均気温の上昇を1.5度に抑える目標を立てています。この国際間の取り決めに基づき、国、県、市町村のそれぞれでゼロカーボンに向けた取り組みが加速しています。

安曇野市行政でも、今年度よりゼロカーボン推進課が新設され、まず2030年度までに50%削減する実行計画を立てています。ゼロカーボンを達成しなければ安曇野どころか地球の未来、子どもたちの未来も危ういのですが、単なる数字目標を追うだけでは、全市的な取り組みにはなりにくいでしょう。この目標達成の取り組みを通じて、社会全体の構造改革が進み、活力ある自立した地域を形成したいと考えます。

すなわち、これまでも議会で提案してきた地域におけるエネルギーの自給自足など、他地域に依存しない、自立した安曇野市をつくっていききたいのです。少し難しいテーマのように思えるかもしれませんが、我々一人一人の意識変革も大事なので、ぜひこのテーマに関心を持っていただければと思います。

※カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量から吸収量や除去量を差し引いた合計をゼロにすること。環境のために温室効果ガスの排出量を抑えなければなりません、経済活動を維持するうえでは温室効果ガスを全く排出しないようにするのは難しいため、「差し引きゼロ」とする考え方。



望市議 新設したゼロカーボン推進課はどのような役割を果たすのか。

市長 ゼロカーボン実現には、多岐にわたる分野での取組強化が必要。司令塔として市の各部局の取組を統括、連携する機能を有し、施策の専門性についてアドバイスする。

望市議 CO₂削減の2本柱は省エネルギーと再生可能エネルギーの創出。省エネ対策の要が住宅や施設の断熱化。中でも学校の断熱化はエネルギー削減の観点からも、教育の質や生徒の健康の観点からも非常に重要。学校の長期寿命化の計画の中で、断熱対策の検討は組み込まれているのか。

部長 建物の断熱対策は十分とは言えない。遮熱カーテンを設置し、室内温度の管理を図っている。緑のカーテンも冷房の効率化を図るには有効な手段なので、小・中学校での取組を促す。建物自体の断熱化は、今後学校施設の大規模改修に併せ、必要な調査を行う。

望市議 ゼロカーボンとは本市においても達成目標がある。ただ数値目標を無機的に追うだけでは取組の意欲が市民に湧いてくるのか。我々が向かう先の社会像、未来像を見据えることができれば意識も変わり、全市的な取組へと昇華、展開していく。ゼロカーボン実現の先にどんな社会が待っているのか。

市長 国の環境基本計画では、地域循環共生

圏という言葉で自立・分散型社会の形成と言っている。その先には経済、環境、社会の統合的解決を目指し、SDGsの達成につながる。地域内での経済、食料、エネルギーの地消地産によって、自立できる地域を目指す。

6月定例会報告

令和6年度一般会計補正予算への以下の賛成討論をしました。

私はこれからの社会においてデジタル変革は必須で、行政も推進していくべきだと考え、私自身もマイナンバーを取得しました。しかしマイナ保険証に見られるマイナンバー取得は任意と言いながら、保険証を廃止することで実質的な強制とも言える国のやり方に対しては憤りを覚えます。本年12月には現行の保険証が廃止されますが、マイナ保険証を持たない人には、今度は「資格確認書」を新たに作成させるという国の迷走ぶりにも呆れています。こういった国の進め方に対し、これまでは保険証廃止やマイナ保険証関連の議案には反対をしてきましたが、保険証廃止が半年後の12月に迫る中で、粛々と法定受託事務を執り行う自治体行政の予算を否定することはできず、賛成いたします。

望三郎議員とのおしゃべり会

市政の様々な課題や関心持っているテーマについて、望三郎議員の考えを聴いてみたい、自分の考えも聞いてもらいたいという方、どうぞご参加ください。私も背広とネクタイを外し、市民のみなさんとざっくばらんにお話ししたいです。お子さん連れでどうぞ。

日時：8月3日（土）午後2時～4時

場所：蔵のカフェレストラン清雅

（豊科 3550-1）

※参加者は飲み物をご注文ください。また今回参加する議員は望三郎だけです。

